

ろうさい ニュース

— 今月のトピックス —

新年あけまして

おめでとうございます

「第13回

浜松 EAST 医療連携セミナー」

を開催します。

浜松労災病院 地域医療連携広報紙 第365号 平成27年1月号

■年頭のご挨拶 院長 有井 滋樹

新年あけましておめでとうございます。旧年中は本当にお世話になり厚く御礼申し上げます。本年も何卒、よろしく願い申し上げます。

さて、皆様方におかれましてはどのようなお正月を過ごされましたでしょうか。私は奈良にまいりました。お目当ては五重塔で有名な興福寺の阿修羅像です。見られた方も多いたと思いますが、少年のような中性的な容姿で、3面の顔がそれぞれ異なった表情をしております。私は正面の憂いを含んだ顔に惹かれ、魅入ってしまいます。

昨今の超高齢化社会を迎えて医療行政は大きな変革を進めています。2014年の第6次医療法改正により病床の機能分化と連携の推進、地域医療ビジョンの策定などが謳われています。ただ、急性期病院として奇策、妙案があるわけではありません。良質の診療を行うことはプロフェッショナルとして当然のことですが、病診連携、病病連携を軸にしてその診療に心をこめてまいりたいと存じます。

そのため、私どもは二つのことを大切にしたいと思えます。それは地域医療支援病院と臨床研修指定病院としての責務です。いつなんどき、地域の方々が急病や災害、事故に見舞われても適切、迅速、丁寧に診療を行うことがもっとも大切なことと考えています。昨年の救急搬送、および救急搬送以外の時間外受け入れ率はともに約95%です。100%というのは物理的に不可能ではございますが、継続してまいりたいと存じます。

臨床研修病院として今年は2名の初期研修医と2名の後期研修医が着任します。お恥ずかしい限りですが当院におきましてはかつてないことで、彼らを良医に育てねばなりません。同時に、日常の診療におきましてもフットワークがよくなるものと思えます。

末筆になりましたが、新年にあたり、皆様方のご多幸とご活躍を祈念申しあげます。

■不妊外来の開設の案内

当院婦人科にて、平成27年1月13日（火）より新たに不妊外来を開設いたします。対象となる患者さんがいらっしゃいましたら、ご紹介のほど宜しくお願い致します。

当院不妊外来は、一般不妊症の患者さんが対象となります。なかなか妊娠できないけれど、体外受精まではまだ、という患者さんを丁寧に、細やかに診察・治療いたします。また体外受精の必要な患者さんは、責任を持って当該施設にご紹介いたします。婦人科外来へお気軽にご相談ください。

不妊外来診療日：月～金 午前中（祝日は休診）

担当医師：朝比奈 俊彦（火・水・木）、小澤 英親（月・金）

※ 初診の方は、初回受診のみ火・水・木のいずれかの受診枠でご紹介ください。

■産業医研修のお知らせ

平成27年1月24日（土）14:00より当院6階大会議室にて「産業医研修」を開催いたしますが、おかげをもちまして定員を満了することとなりました。誠にありがとうございます。

※ 前号にて演者の井上先生の御芳名に誤りがありました。井上先生並びに関係者の方にご迷惑をかけまして、申し訳ありませんでした。

（正） 井上 邦雄 静岡産業保健総合支援センター相談員、浜松労災病院元副院長

「マンモトーム」って何？



乳腺外科部長 加賀野井 純一

浜松労災病院乳腺外科は2010年4月に新設され4年目が経過しました。新設以来、乳癌検診数を増加させることに力を注いできました。お陰様で年間乳がん検診数は当科設立により2倍以上の800~900件で推移しております。乳癌検診数が増えますと早期乳癌に遭遇する機会が増えます。非触知乳癌（DCIS）を疑うCategory3以上の乳房内石灰化病変の生検にはステレオガイド下マンモトームが、直径10mmに満たない腫瘍形成性病変には超音波ガイド下マンモトームが必須です。

マンモトームとは“マンマ（乳腺）”と“トーム（切除）”という単語を組み合わせた造語です。マンモトーム生検は従来の針生検と異なり、疼痛・出血・後の外科治療の問題も非常に少ない優れた生検法です。当院のステレオガイド下マンモトーム装置は静岡県下でも導入病院の少ない腹臥位型で、患者様が腹臥位になることで緊張を和らげ、また患者様が生検処置を目の当たりにすることがないため生検への恐怖感が和らぎリラックスして安全で確実な生検を受けていただけます。また超音波ガイド下マンモトーム装置は、取り回しの扱い易いハンディータイプの超音波ガイド下マンモトーム装置が導入されており、腫瘍の個数や位置により生検困難な場合でも自由な角度・部位より穿刺可能なため腫瘍の生検としては非常に強力です。

マンモトーム生検後は乳房の圧迫止血を行いますので当院では1泊2日のクリニカルパスをスムーズに運用しております。マンモトームにより微小病変も診断可能となっております。乳がん検診や人間ドック等で石灰化病変あるいは腫瘍性病変が指摘された患者様がいらっしゃいましたら、地域医療連携室に御連絡いただき当科に気軽に御相談いただければ幸いです。

これからも患者様の御紹介を宜しくお願いいたします。



ステレオガイド下マンモトーム



超音波ガイド下マンモトーム

マンモトーム1泊2日クリニカルパス

月 火 水 木 金

午前 午後 午前
入院 検査 退院



ステレオガイド下マンモトーム

午前 午後 午前
入院 検査 退院



超音波ガイド下マンモトーム

■第13回浜松EAST医療連携セミナーの開催について

平成27年1月28日水曜日19:30より第13回浜松EAST医療連携セミナーを下記のとおり開催します。セミナー終了後、意見交換会も予定しておりますので皆様の参加を心よりお待ちしております。

記

【日時】平成27年1月28日（水）19:30~

【会場】オークラアクトシティホテル浜松 4階 平安の間

【開会の挨拶】 浜松労災病院 副院長兼地域医療連携室長 三宅 英則

【特別講演】

《座長》浜松労災病院 院長 有井 滋樹

《演題・演者》『上部消化器疾患における日常診療のポイントと今後の展望』

京都大学大学院医学研究科 消化器内科学 教授 千葉 勉 先生

【閉会の挨拶】 浜松市医師会長

滝浪ハートクリニック 院長 滝浪 實 先生

※日本医師会生涯教育制度履修単位数1.5単位

（カリキュラムコード 13・15・50）が付与されます。

共催 浜松労災病院・武田薬品工業株式会社

後援 浜松市医師会

※ 会場が前号にてご案内しましたオークラアクトシティホテル浜松3階チェルシーから4階平安の間に変更となりました。



■平成26年度病病・病診連携サービス実態調査における 先生方からのご要望・ご提案の改善報告について①

病病・病診連携サービス実態調査におきまして、先生方からのご要望・ご提案につきまして、院長をはじめ院内で検討しました改善結果を今回と次回の2回に分けてご報告させていただきます。

1. 患者さんの一部から病院に活気がない、看護婦さん達もっと元気でにこにこしてほしいとの伝聞あり、スタッフ御一人ずつ気合がもっとほしい。
(回答) ご指摘ありがとうございます。職員がやる気をだせる職場づくりを行います。
2. 以前より大きく改善していると思います。今後とも宜しくお願い申し上げます。
(回答) どうもありがとうございます。更なる改善をして、地域に貢献できる病院にしたいと思います。
3. 当院は整形外科ですが、貴院の整形外科における各々の先生の専門分野や各専門分野の手術症例数などわかればもっと紹介しやすくなると思います。どのような症例をどの先生に御紹介すればよいかをもう少し外にアピールする方法があればありがたいです。
(回答) ご意見ありがとうございます。
専門の案内については、追って本紙(ろうさいニュース)にて紹介させていただきたいと存じます。
今回は、まず乳腺外科をご案内させていただきます。次回は整形外科のご案内をさせていただきます。
4. 当院は浜松市の西側にあり貴院とは地域性の点から一般的な患者の紹介は殆どありません。日曜、二次の際には大変お世話になっています。何ら問題ありません。
(回答) さらに「断らない救急」を目指したく存じます。
5. 頑張ってください。消化器内科が充実することを望みます。
(回答) おかげさまをもちまして、ようやく今年度から消化器内科副部長が常勤医として着任いたしました。
内視鏡機器の整備を含めて、来年度以降もさらなる増員・充実に向け、尽力してまいります。引き続きよろしくお願いいたします。
6. 略語をさけてください。専門外のところはなるべく分かりやすい説明をして下さい。
(回答) 医師各位に対して、わかりやすい言葉を用いるよう、早速指導いたしました。
7. いつも大変お世話になっています。今後もよろしくお願いいたします。
(回答) よろしく申し上げます。
8. ろうさいニュースの中に、「〇〇科ではこんな検査、治療を行っています」という特集が入っていますが、大変参考になります。特集にならないような他の地味な科についても、「この頃、こんな治療をやってます」という情報がのっていると患者さんを紹介しやすいと思います。
(回答) 貴重なご意見、誠にありがとうございます。
開業医の皆様から直接ご意見をいただけることにつきましては、非常に喜びを感じるとともに、今後の紙面を考えるに当たり、とても励みになります。
定型的なものにならないよう、連携の糧として有意義な情報を提供して参る所存です。
9. アンケートを何回も実施するよりも、毎日の電話でのやりとりの中でおきている問題をその度に検討して改善していく方が大切ではないですか？アンケートに回答をよせてくる人は、その問題に好意的な人だということをお忘れしないで下さい。「労災病院はきらいだ」という人はアンケートにも回答はしません。
(回答) ご指摘のとおり、日々の診療の中での事案を検討し、改善につなげることがもっとも大切と思います。
ただ、本アンケートは機構本部の指示でもありますので、ご理解していただきたく存じます。
10. ・時間外にいつも受け入れて頂き、大変お世話になっています。(最近では市内でも受け入れ拒否される病院が多くなっています)
・夕方、土曜日の外来予約受け付けの充実をよろしくお願いいたします。
・在宅診療の連携をよろしくお願いいたします。寝たきり患者の緊急対応、一時入院等積極的に受けて頂けたらありがたいです。
(回答) 当院では、「断らない救急」を目指し、日々努力しておりますので、感謝のお言葉をいただき恐縮です。
平日夕方や土曜日は公的病院として休日になりますが、断らない医療を目指したく存じます。
11. ・浜松労災病院は我々地域の者が最も信頼と期待を寄せる病院です。(今までの実績より) 今後とも、よろしくお願いいたします。
・今までの如く、まず紹介の患者を受けていただく、診ていただくことを徹底していただくことを望みます。
(回答) 地域医療支援病院としての最大の責務は、地域の方々がいつ何時に急病や事故、災害にあわれても迅速、適切、ていねいに対応することだと思います。この大原則を大切に行ってまいりたいと存じます。